

## 議 事 録

作成日：令和3年5月28日

議 題	○川南町学校規模適正化審議会委嘱状交付式 1 審議会委員委嘱状交付式 2 教育長あいさつ ○第1回 川南町学校規模適正化審議会 1 会長及び副会長の選任について 2 諮問 3 協議 (1) 川南町中学校新設についてのアンケート調査結果報告 (2) 川南町立中学校の統合に係る基本方針(案)について (3) 意見交換 4 今後のスケジュール 5 その他		
日 時	令和3年5月25日 午後6時30分から 午後7時30分	作 成 者	教育課 橋口 実
場 所	生涯学習センター 1階 会議室		
出 席 者	委 員	安藤洋之、平田順一、平塚金治、日高亘、小野智光、齋藤嘉貴、中瀬修、井上侑加、鏑野寛美、富高保弘、木内新一、神谷則子、前田将大、中津和彦、永友辰樹	
	事 務 局	坂本幹夫教育長、山本博課長、平部至識対策監、橋口実課長補佐、河野幾久子学校教育係長、草刈淳指導主事	
欠 席 者	委 員	なし	
議 事			
事務局(山本)	本日は、大変お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。審議会に先立ちまして、皆さまに委嘱状を交付させていただきます。それでは、ただいまから川南町学校規模適正化審議会委員委嘱状交付式を執り行います。教育長が皆さまの席において交付しますので、それぞれ委嘱状の受領をお願いします。		
	＜委嘱状交付＞		
事務局(山本)	つづきまして、教育長がひとこと御挨拶を申し上げます。		
教育長	みなさん、こんばんは。お忙しい中にお集まりいただき、感謝申し上げます。第1回学校規模適正化審議会にあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。本町では、少子化が進む中、将来にわたって子どもが生きる力を培う学校教育を保障する観点から、学校の適正配置について検討を重ねて参りました。特に、中学校の生徒数のこれからの状況を見ますと、減少方向が進み、9年後には唐瀬原中学校で200人を割り込み、国光原中学校では100		

	<p>人程度となる見込みでございます。学級編成において唐瀬原中で1学年2クラス、国光原中学校で1学年1クラスになる見込みでございます。中学校は、生徒同士が集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて将来設計を具体的に考える大切な時期であります。このような教育環境を整えることは私たち大人の責務であり、学びを保障し、よりよい教育環境を整えることが重要でございます。これまでに座談会や意見交換会を通して、様々なご意見をいただきました。スピード感をもって行って欲しいとの要望や保護者や住民の声を反映して欲しいとの要望を受けました。スピード感と丁寧さに心がけ、今年の2月から3月にかけて保護者の方や住民の皆様アンケート調査を行い、貴重なご意見をいただきました。</p> <p>また、町民を代表していただいた皆様に審議会委員を委嘱し、新しい時代に対応した川南町の中学校教育の在り方について、諮問し、答申をいただきます。皆様方から出されたご意見は、これからの川南町の中学校教育を大きく変える貴重な提言であると受け止めています。また、その答申を受け、議会での説明会や住民説明会も予定しています。最後になりますが、私は、義務教育9年間を通して学びを見届け、仕上げる教育、夢、挑戦、実現を目指し、主役である中学生のよりよい教育環境はどうあるべきかを皆様と一緒に考え、誰もが行きたくなる特色ある中学校を皆様と一緒に創りたいと思います。本日からどうぞ、よろしく申し上げます。</p>
事務局（山本）	<p>以上をもちまして、川南町学校規模適正化審議会委員委嘱状交付式を終わらせていただきます。</p> <p>それではただいまから、第1回審議会を開催いたします。</p> <p>本日御出席いただいております委員は、15中15人です。よって、過半数に達しておりますので、川南町学校規模適正化審議会条例第6条第2項の規定により本日の審議会が成立しておりますことを御報告します。</p> <p>つづきまして、委員紹介を行います。</p> <p>本日、初めて皆さまにお集まりいただいておりますので事務局から御紹介させていただきます。</p> <p>なお、学校規模適正化審議会条例第3条第1項の規定により委員の数は15人以内となっており、本日15人の方を委嘱しております。</p> <p>それでは、今回、委嘱させていただきました委員の方々を御紹介します。</p> <p>元教育委員 元町議会議員 安藤洋之様です。元小学校関係者 平田順一様です。元中学校関係者 平塚金治様です。唐瀬原中学校校長 日高亘様です。国光原中学校校長 小野智充様です。町PTA連絡協議会会長 齋藤嘉貴様です。町PTA連絡協議会副会長 中瀬修様です。唐瀬原中学校PTA役員 井上 侑加様です。自治公民館連絡協議会会長 釜野寛美様です。自治公民館連絡協議会副会長 冨高保弘様です。長寿会連合会会長 木内新一様です。地域婦人連絡協議会会長 神谷則子</p>

	<p>様です。若者連絡協議会会長 前田将大様です。幼稚園保護者代表 川南幼稚園PTA会長 中津和彦様です。保育園保護者代表 川南保育園保護者会会長 永友辰樹様です。</p> <p>つづきまして、この審議会の会長及び副会長の選出についてですが、学校規模適正化審議会条例第5条第1項の規定により委員の互選によりこれを定める。となっております。いかがいたしましょうか。</p>
	<p>&lt;事務局一任の声あり&gt;</p>
事務局 (山本)	<p>事務局一任との御発言がありましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、会長を安藤委員、副会長を平塚委員にお願いしたいと考えております。これからの進行につきましては、学校規模適正化審議会条例第6条第1項の規定で、会長が議長となっておりますので、安藤会長におかれましては議長席へ移動をお願いします。</p>
会長	<p>皆様こんばんは。ただいま会長に指名していただきました安藤洋之と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。皆様と一緒に川南町の将来のために考えていけることは、非常に貴重な体験だと思っております。皆様方からも貴重なご意見をいただき立派な中学校ができますことを願っております。簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきます。よろしくご協議をお願いします</p> <p>それでは、議題に入ります前に、議事録署名人2人を選出していただきますが、どのような方法で選出いたしましょうか。</p>
	<p>&lt;会長一任の声あり&gt;</p>
会長	<p>私から指名させていただいて御異議ありませんか。</p>
	<p>&lt;異議なしの声あり&gt;</p>
会長	<p>それでは、皆さまに署名いただけるように、各回、名簿順でお願いしたいと思います。今回は、平田委員と平塚委員に議事録署名をお願いいたします。</p> <p>それでは、会次第 2 諮問について事務局よりお願いします。</p>
教育長	<p>&lt;諮問書を会長へ&gt;</p>
事務局 (山本)	<p>ここで教育長は退出されます。</p>
会長	<p>それでは、これから協議に入ります。</p> <p>協議事項 (1) 川南町中学校新設についてのアンケート調査結果報告について事務局より説明願います。</p>
事務局 (橋口)	<p>&lt;アンケート調査結果報告説明&gt;</p>
会長	<p>それでは、アンケート調査結果報告について、御意見、御質問等がありましたらお願いします。</p> <p>意見が無いようでしたら、私から質問します。質問4の新中学校の設置場所について、その他とありますが具体的にはどこの場所をさしています</p>

	か。
事務局（橋口）	主に、国立療養所の空き地です。
会長	何か質問はありませんか。 ＜発言なし＞ 無ければ次に移ります。 （2 川南町立中学校の統合に係る基本方針（案）について）事務局より説明願います。
事務局（橋口）	＜川南町立中学校の統合に係る基本方針（案）のうち「これまでの経緯」「児童生徒数の現状」「中学校生徒数の現状と将来推計」を説明＞
会長	それでは（2 川南町立中学校の統合に係る基本方針（案）について）御意見、御質問等がありましたらお願いします。
釜野委員	ただいまの説明は、基本方針（案）の説明のみで、諮問事項2の新中学校候補地の説明はまだですね。
会長	まだ候補地の説明はしておりません。
釜野委員	意見を述べさせてください。ただいま説明のありましたこれまでの経緯、基本方針、今後の流れ、方向性については、理解できる内容でしたが、諮問事項2の候補地については疑問があります。今後詳しくご説明をいただきたいと思います。
会長	その他意見はありませんか。 無ければ次に移ります。3 意見交換となっていますが、本日資料が配布され、説明を受けた今の段階では意見交換も難しいと思いますので、次回までに資料を熟読していただき、次回の会議で意見をいただくことでよろしいですか。
	＜はいとの声あり＞
会長	それでは、4 今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。
事務局（橋口）	＜今後のスケジュールを説明＞
会長	次回審議会の日程についても併せて提案してください。
事務局（橋口）	次回審議会を6月17日（木）同時刻、同会場で開催したいと考えておりますが、いかがでしょうか。
会長	皆様の意見はいかがですか。
	＜異議なしの声あり＞。
会長	短い期間で答申を出さなければならず、委員の皆さまにはご苦勞をお掛けしますが、子どもたちにとって、よりよい環境を整えるための審議会ということで、今後ともご理解とご協力をよろしく願います。
釜野委員	6月に立地適正化計画の説明、7月に費用比較説明ということだが、費用の説明が7月では遅いのではないか。場所を決定するのに費用抜きで決める訳にはいかない。費用面、環境面、利便性などいろいろな要件を検討し総合的に評価して決めるべきであって、いきなり文化ホール周辺と決め

	つけるのはおかしいと考えます。
事務局 (山本)	現在、費用等の調査を委託している状態です。工期が6月末となっているため、結果が出るのは6月末となります。その関係で6月の会議には提案するのは厳しい状況となっています。金額等の数値が出ましたら7月の会議で説明をさせていただきます。
釜野委員	その調査では何案か条件を示してくれるのですか。
事務局 (山本)	アンケート調査でも提示しました国光原中学校、唐瀬原中学校、ふるさと文化公園周辺の場合の3箇所を比較検討しております。
釜野委員	国立療養所の敷地は検討地として入っていないのですか。
事務局 (山本)	国立療養所は候補地から外しております。と言いますのも、国立療養所の方に確認したところ、用地売却をするつもりはなく、施設として利用する計画があるとの回答をいただきました。
会長	比較検討結果は7月上旬には説明できますか。
釜野委員	3箇所を比較した結果を示してもらえるとということです。
事務局 (山本)	7月上旬には第3回を開催し説明したいと思います。
会長	他に何かご意見はありませんか。
井上委員	次回の会議の際は、場所の話だけではなく、どのような学校にするかなどの話をしてもいいのですか。
会長	次回は基本方針(案)についての話し合いを行いますので、たくさんの意見をよろしくお願いします。
会長	以上をもちまして、第1回審議会を終了します。お疲れ様でした。

以上、会議において出された意見であると認めます。

令和3年6月17日

第1回審議会

会 長

安藤 洋之

議事録署名人

平田 順一

議事録署名人

平塚 金治